



会社案内

常に提案を忘れない『創造企業』



栃尾工場全景



見附試験塔



栃尾工場

ご挨拶 Message from the President

当社は物を創り出す『創造企業』です。また同時に、お客様のニーズに的確に応えるだけでなく、お客様の提案を元に共に知恵を出し合い、新しい付加価値を追求していく『技術企業』でもあります。



代表取締役 くのり じゅんこ
九里 順子

弊社の事業基盤は創業 50 年間にわたる各種エレベーター製造にあります。企画・設計・製作・据付施工から保守管理体制までの一貫体制を自社内に構築してきた国内でも数少ない企業です。そこで育んできた機械部品から電子回路にいたるまでの専門的なノウハウをエレベーター以外の駐車場装置や車両移動装置など幅広い分野にも応用しています。

お客様への満足の提供を第一に考え、創造の喜びと技術者としての誇りを製品に反映させるのが昌和輸送機の心構えとしていところ。今後ともお客様のために最先端の技術と安心を常に自らのものとすべく精進して参ります。

何卒よろしくご愛顧の程、お願い申し上げます。

——それが昌和グループです。

企業理念 Corporate Philosophy

弊社は、一貫生産体制（企画、設計、製作、据え付け）と保守管理体制とを自社内に構築している国内では数少ない企業です。お客様に最後まで責任を持ってお答えするという基本方針のもと、50年間、国内一貫生産体制を維持しつづけており、今後もその方針は変わりません。だからこそ弊社は「どんなときも」、「どんなことにも」迅速で丁寧な対応ができるエレベーターメーカーであることを自信をもってお約束します。



企画 Plan

企画段階から専門チームが
ご相談に対応します。

人荷用エレベーターであれば定員の設定や、速度、防犯装置の備え付けなど、また荷物用エレベーターであれば、積載容量や駆動方式（大別してロープ式と油圧式）の決定など、設計に入る前に検討しなければならない要因は数多くあります。昌和輸送機では、企画段階から、専門の営業スタッフ及び専門技術者が貴社のご相談にのります。昭和26年の創業以来、関東各県を中心に誠意ある仕事をこなしてきた実績により、お客様のニーズに合わせたエレベーター装置に最善の技術、製品をご提供できると考えています。是非、社内での検討段階から、お声をかけて下さい。

設計 Design

ありとあらゆる要素を
考慮した設計。腕の見せ所。

昌和輸送機の技術者は、エレベーターに関する深い知識・ノウハウと同時に建設物の構造や、電気関係の仕組みについても専門家です。お客様のご要望を十分に反映させた設計はもちろん、各段階で追加要望も最大限取り入れ、安全・安心で使いやすいエレベーターに向けた設計を行います。

製作 Production

卓越した技術力は長年の間
錬磨を積み重ねたもの。

実際の製作
ます。社
運転を重
昌和輸送
ンが密に
る営業と
る技術者
もってお

製作 Production

商品群 Line up

荷物用エレベーター

工場・倉庫用、あるいは商業ビル用、そしてフォークリフトを使用する特殊仕様のものまで、幅広く開発・製作いたします。



(施工例)

人荷用エレベーター

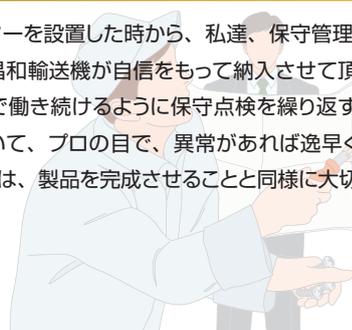
人と荷物、全てのニーズを1台で満たすため、より高い安全性と能率性を両立させたエレベーターを設計、施工します。



保守管理 maintenance

保守管理にもプロの技術者の腕と目が光ります。

エレベーターを設置した時から、私達、保守管理の仕事が始まります。それは、昌和輸送機が自信をもって納入させて頂いた製品が、常に最高の状態で働き続けるように保守点検を繰り返すことです。定期的な点検において、プロの目で、異常があれば逸早く察知し、事故を未然に防ぐことは、製品を完成させることと同様に大切な企業の使命です。



据え付け Setting

ロケーションとニーズに合わせた据え付け。

据え付け作業及び配線状態、環境テスト、通電、運転試験など数々のチェックを繰り返して、完全に技術者の納得がいく据え付けを行います。企画・設計の段階では気づかなかった細かい部分の問題が万が一、発生した場合もベテランの技術者が万全の体制で臨んでいますから、仕上げは完璧。工場、流通倉庫、百貨店、配送センター、飲食店など応用される建築物は多種多様ですが、どんなロケーションであっても流通機能を最大限に活かされるように、細心の注意をはらって設置致します。安全性と効率の極みを実感して下さい。

作においても自社工場（川口・栃尾）で一貫生産を行っている内に安全性と性能をチェックする試験研究施設を完備し、試験品、最良の製品を開発しています。

機の特徴は、営業スタッフと技術スタッフ間のコミュニケーションが行われること。いつでもお客様のニーズを優先させ、対応する日進月歩で進歩を遂げるこの業界の最新技術を見つめ続けるとの共同作業でできあがる製品であればこそ、絶対の自信を込められるのです。最新の技術情報の収集も怠りません。

据え付け Setting



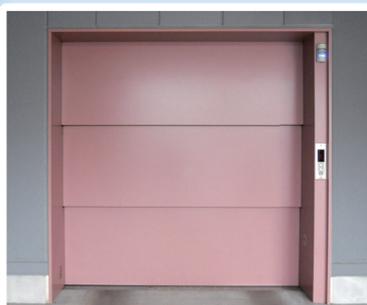
(施工例)



自動車用エレベーター

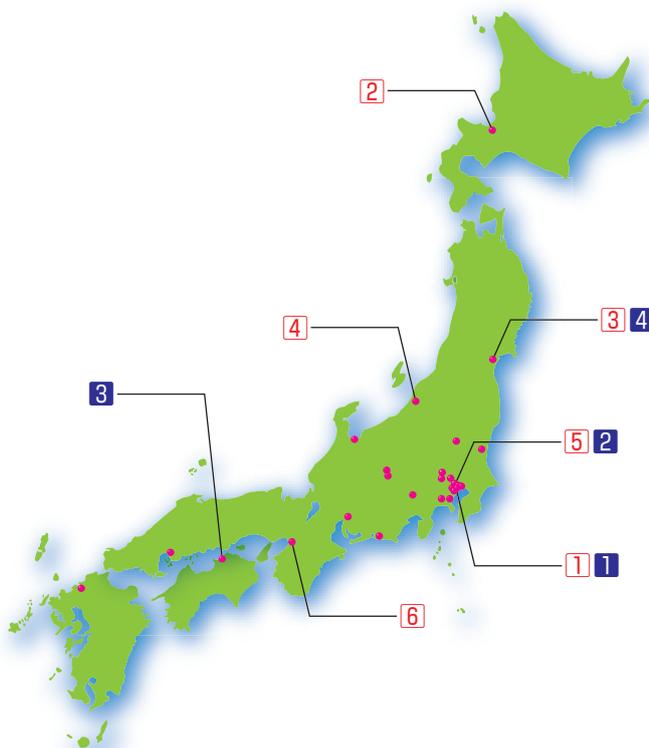
ビルの屋上や地下の駐車スペースへ車をスムーズに移動させます。安全でしかもコスト面からも自信をもってお薦めできる設備です。

マシンルームレス



機械室あり
・かご天井無 / かご扉無

(施工例)



1 本社

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 3 丁目 4 番 6 号 岩本町高橋ビル
TEL 03 (3865) 8811 (代) FAX 03 (3865) 8830

2 札幌営業所

〒003-0029 北海道札幌市白石区平和通 16 丁目北 8 番 18 号
TEL 011 (868) 4736

3 仙台営業所

〒981-0914 宮城県仙台市青葉区堤通雨宮町 2 丁目 8 番
TEL 022 (728) 6088 (代) FAX 022 (728) 6105

4 新潟支店・栃尾工場

〒940-0116 新潟県長岡市上檜出 1611 番地
TEL 0258 (53) 5100 (代) FAX 0258 (53) 5005

5 埼玉支店・川口工場

〒332-0031 埼玉県川口市青木 4 丁目 18 番 5 号
TEL 048 (255) 6100 (代) FAX 048 (255) 6329

6 大阪営業所

〒547-0014 大阪府大阪市平野区長吉川辺 2 丁目 8 番 5 号(B 号)
TEL 06 (6701) 5100 (代) FAX 06 (6701) 5200

昌和グループ

- 1 昌和輸送機(株)** 東京都千代田区岩本町
- 2 株式会社 昌和** 埼玉県川口市青木
- 3 四国昌和輸送機(株)** 香川県善通寺市
- 4 昌和輸送機東北(株)** 宮城県仙台市青葉区堤通雨宮町

サービスネットワーク

- 北海道** ●北海道札幌市 / **東北** ●宮城県仙台市
- 関東甲信越** ●新潟県長岡市 ●栃木県宇都宮市 ●茨城県水戸市 ●埼玉県さいたま市 ●埼玉県坂戸市 ●埼玉県入間市 ●東京都北区 ●東京都新宿区 ●東京都江戸川区 ●東京都江東区 ●東京都品川区 ●山梨県甲府市 ●千葉県船橋市 ●神奈川県横浜市 ●神奈川県海老名市
- 中部** ●愛知県名古屋市中区 ●静岡県浜松市 ●長野県岡谷市 ●長野県松本市 ●富山県富山市
- 近畿** ●大阪府大阪市 / **中国** ●広島県広島市 / **四国** ●香川県善通寺市 / **九州** ●福岡県福岡市

会社概要 Outline of company

社名	昌和輸送機株式会社
代表取締役	九里 順子
創業	昭和 26 年 4 月 1 日
資本金	授權資本金 96,000,000 円 払込資本金 24,000,000 円
所在地	東京都千代田区岩本町 3 丁目 4 番 6 号 岩本町高橋ビル
建設許可業	国土交通大臣 (般) 第 14836 号
エレベーター製造許可 認定番号	新基第 419 号 (ロープ式エレベーター)、新基第 404 号 (油圧式エレベーター) (戸開走行保護装置) ENNNUN-0312、ENNNUN-0275、ENNNUN-0276、ENNNUN-0313、ENNNUN-0324、 ENNNUN-0325、ENNNUN-0326、ENNNUN-0352、ENNNUN-0354、ENNNUN-0353、 ENNNUN-0794、ENNNUN-1114、ENNNUN-1115、ENNNUN-1116、ENNNUN-1117 他 (遮煙扉) CAS-0496、CAS-0564、CAS-0565、CAS-0567、CAS-0568、CAS-0593 他 (型式認定) 01Gdd000053、01Gdb000059
建築士事務所	昌和輸送機株式会社一級建築士事務所 新潟県知事登録第 4285 号
加入団体	社団法人日本エレベーター協会会員 / 東京エレベーター工業協同組合組合員 / 東京商工会議所
主要取引銀行	みずほ銀行 神田駅前支店 / 東日本銀行 神田支店 / 三井住友銀行 赤羽支店 / 北越銀行 今町支店
営業科目	エレベーター・大型エレベーター・カーリフト・ターンテーブル・小荷物専用昇降機 電動台車各種搬送機の企画、設計、製作、現場据付工事、保守管理

沿革 History of company

昭和 26 年	4 月	九里組創業 エレベーター据付請負業として創業
昭和 35 年	2 月	(有)昌和輸送機工業所設立 東京都千代田区神田福田町にてエレベーター等の据付請負ならびに保守を主力事業として法人化
昭和 37 年	5 月	昌和輸送機株式に改組および商号変更 資本金 1,000,000 円
	6 月	東北支店（仙台市）開設
昭和 40 年	3 月	(有)昌和製作所設立 埼玉県川口市にて巻上機の加工、組立を主力事業とする子会社として設立
昭和 41 年	7 月	資本金 3,000,000 円に増資
昭和 42 年	11 月	川口第 1 工場（埼玉県）新設 巻上機加工、組立工場。巻上機自社製作開始
昭和 46 年	10 月	資本金 9,000,000 円に増資
昭和 47 年	7 月	資本金 12,000,000 円に増資
昭和 48 年	1 月	食品工場向け全自動荷積、荷降ろしエレベーター開発、一号機納入
昭和 50 年	4 月	宇都宮営業所開設（保守メンテナンスサービス栃木県の拠点）
	7 月	資本金 24,000,000 円に増資
昭和 51 年	4 月	台湾にエレベーター本体および巻上機輸出開始 台湾のエレベーター製造メーカーへの技術指導と育成を開始。
	9 月	川口第 2 工場新設 第 1 エレベーター試験棟を併設する制御盤製造工場。制御盤自社製作開始
	10 月	「帰還制御式エレベーター」を開発
昭和 53 年	9 月	株昌和設立
昭和 55 年	10 月	病院向けワゴン配送システム付エレベーターの開発、一号機納入
昭和 62 年	10 月	川口第 3 工場新設 工部門専用工場兼倉庫
平成元年	11 月	栃尾事業所（栃尾工場）開設、板金を中心とする製造部門を移管 事務所棟、第 1 工場（現第 5 工場）、倉庫（現第 4 工場）
平成 4 年	7 月	栃尾第 2 工場（現第 1 工場・カゴ床・柱等製造工場）新設
平成 5 年	7 月	見附機械工場開設（巻上機加工、組立工場）
平成 7 年	3 月	油圧技術と電気制御技術の応用製品として、鉄道会社向け車両修理用自走仮台車を開発、一号機を納入
	7 月	本社を千代田区神田から中央区日本橋本町へ移転
	10 月	見附機械工場移転、近隣に土地購入し見附機械工場新設および同工場内に新潟支店開設
平成 8 年	1 月	回転装置付車両用エレベーターの開発、一号機納入
	12 月	栃尾第 3 工場新設（径路内鋼構造物の切断、加工および溶接工場）
平成 10 年	4 月	四国支店開設
	4 月	四国昌和輸送機株式新設 四国、中国地区における据付、販売ならびに保守を事業とする子会社として設立
	4 月	インバータ方式油圧エレベーターを開発、販売開始
	10 月	栃尾工場、現第 5 工場内に第 2 エレベーター試験棟新設
平成 12 年	3 月	東北新幹線車両向け自走仮台車を開発、第一号機を納入
	8 月	見附機械工場売却、近隣に土地、工場購入し見附工場を新設。新潟支店同所に移転
	9 月	見附工場内に第 3 エレベーター試験棟新設
平成 13 年	3 月	株昌和を存続会社として(有)昌和製作所を吸収合併
平成 14 年	4 月	マシンルームレス・エレベーターを開発、販売開始
平成 15 年	1 月	油圧ダブルダイレクト方式エレベーターを開発、販売開始
平成 16 年	10 月	設計開発、販売、据付ならびに保守を昌和輸送機株式、製造を株昌和と両社の業務を区分し、重複業務を削減
平成 17 年	4 月	ヘリカルギアマシンの製作開始
平成 18 年	3 月	社債（私募債・50 百万円、3 年、みずほ銀行）発行
	7 月	栃尾第 2 工場新設（カゴパネル、ドア等製造工場）
平成 19 年	4 月	軸荷重 24,000kg 型ヘリカルギアマシンの製品化と販売の開始
	9 月	東海道山陽新幹線向け自走仮台車 20 台納入
平成 20 年	4 月	札幌営業所開設
平成 21 年	4 月	創業者・社長九里昌己逝去
	5 月	取締役九里順子代表取締役就任
平成 22 年	3 月～	戸開走行保護装置型式認定取得
	6 月	新潟支店移転
	8 月～	遮煙扉型式認定取得
	9 月	社債（私募債・100 百万円、5 年、みずほ銀行）発行
平成 23 年	2 月	大阪営業所開設
	7 月	仙台営業所開設
平成 27 年	7 月	本社を中央区日本橋本町から千代田区岩本町へ移転



<http://www.showa-yusoki.co.jp/>